

## ナタネ菌核病を軽減する栽培技術の開発

利用対象：三重県内ナタネ生産農家

○伊賀市では平成 19 年から「菜の花プロジェクト」に取り組み、ナタネを栽培しています。一方、従来からの苗立・生育不良などの問題とともに、連作によるナタネ菌核病の発生が目立ってきており、安定生産技術の確立が望まれています。

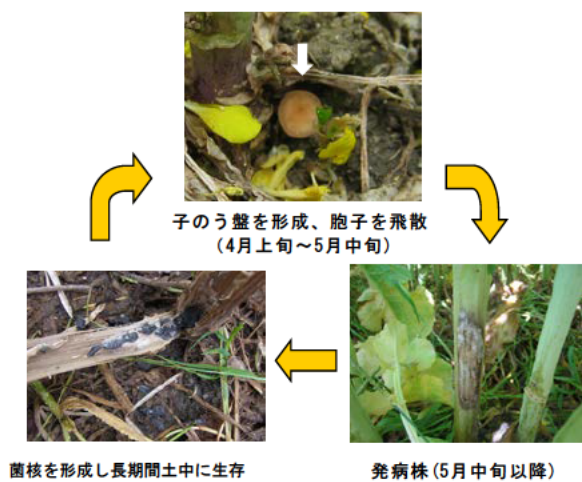


### ナタネ菌核病を軽減し、安定多収を得るための栽培技術を開発しました！

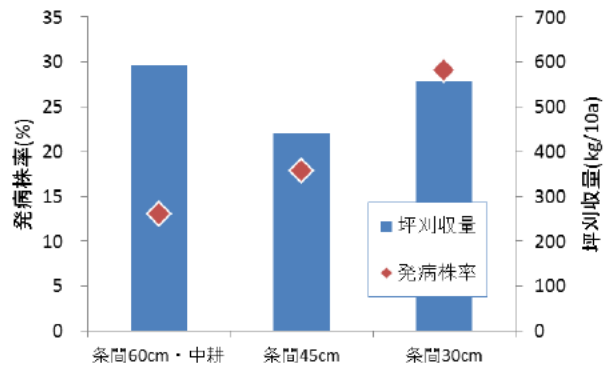
#### (特徴)

ナタネ菌核病の発生がみられる圃場では、以下の技術を組み合わせることで安定多収が得られます。

- ①夏季湛水：作付前に 1 か月程度、代かき＋湛水処理を実施→菌核が死滅
- ②条播＋中耕：条間を 60cm 程度とし、中耕を実施→菌核病の発生が軽減
- ③菌核病に抵抗性の強い品種の利用：キザキノナタネ、ななはるか、ななしきぶ、キラリボシ等
- ④排水対策：周囲溝の設置、畝立播種など



ナタネ菌核病の生活環



播種様式と菌核病の発病程度および収量

夏季湛水処理：前作ナタネ収穫後 1 か月程度  
播種：10 月 12 日、小明渠作溝同時畝立播種  
中耕処理：12 月 20 日 品種：キザキノナタネ

#### (利用場面と留意点)

- 長期の連作はナタネ菌核病以外の病害虫や雑草の増加要因になるので避ける。
- ナタネは発芽から生育初期の湿害に弱いので排水対策に努める。

お問い合わせ先	伊賀農業研究室 中央農業改良普及センター	中山幸則 芳尾知也	電話 0595-37-0211 電話 0598-42-6323
参考になる資料	三重農研HP: <a href="http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm">http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm</a>		